

質問者



植田 喜晴 議員

問 町道筒井徳丸線
事業見直しの考えは

町道筒井徳丸線が片側2車線必要な根拠を示し、住民が納得いく説明を求めます。
事業を計画どおり進めると今後18、19年度の2カ年で約25億円の事業費支出となり、住民生活予算に大きなしわ寄せを与える。事業と事業費の計画を示すよう求めます。

答 当初計画どおり推進
答弁 佐伯助役

この道路は、町の東西の骨格をなす幹線道路であり、周辺の地域は将来的に市街地の形成が十分見込まれます。また災害時には、防災・避難活動や火災延焼の遮断空間など防災スペースともなります。
第2工区の事業費は、45億円で平成19年度完成の予

定で進めています。しかし用地交渉や財政面で、予定通り完成は厳しいと考えています。

問 町営住宅の
建て替え計画は

2年前に平成18年度事業着手と変更しました。その後の取り組み状況と今後の事業と事業費の計画を示すよう求めます。

答 引き続き
積極的に推進
答弁 佐伯助役

合併協議の新市建設計画の中で、平成18年度着手を見込んでいました。しかし、合併協議が崩れ、今の厳しい財政状況では18年度着手は難しいと考えています。
しかし町営住宅再生プランに基づく建て替えは大切な事業であり、引き続き積極的に進めていきます。
事業費は、住宅の建て替えに概ね30億円、進入道路等に4億円必要と見込んでおります。

問 筋力トレーニングの
効果は

筋力トレーニングなどの介護予防事業を実施するが、その効果はどのようなものか。この事業以外に新規の事業を町民は期待しているが、どのような計画がありますか。

答 体の機能向上
答弁 白石町長

この事業で期待される効果は、生活習慣病予防と筋力の低下を防ぎ、体の機能の向上を図ることです。その結果として、外出や社会参加が進み生活が活性化されます。
新しい事業については、これまでの高齢者のみなさんからの具体的な提案はありませんが、会合等で高齢者のお声を聞いており、町で独自の事業も考えております。今後とも高齢者が元気で明るく生活できるように住民の要望を聞きながら、実施できるものは実施していきたいと考えています。

問 住民の心配解消を

フジの出店で住民が心配している3つの点で見解を求めます。
1、施設内の排水対策で、町や関係住民が参加する協議によって対策を決定すること。
2、施設周辺の生活道路の混雑・渋滞をどのように想定しているか。その対策はどうか。
3、深夜営業で風紀・風俗の悪化が心配される。深夜営業を規制し安心・安眠の環境の確保を求める。

答 関係機関と
協議し指導
答弁 中矢企画財政課長

排水対策の基本的な考え方は、施設からの排水量が開発前と同等かそれ以下になるようにすることです。町の大型商業施設整備促進委員会や専門部会でフジの企画に検討を加え、町の雨水計画と整合性を持たせるよう指導、助言をしています。
渋滞対策は、フジが車輛の



大型商業施設

交通量や経路に関する交通シミュレーションを実施し、交通対策に関する計画を策定することとしています。
営業時間の規制は、大規模小売店舗法が廃止、大規模小売店舗立地法が施行されて閉店時間などの規制が排除されました。町としては、営業時間の規制は考えていません。
しかし、大規模小売店舗立地法は、周辺地域の生活環境の保持を求めており、フジはそれに努めながら計画を進めるとしています。
町としましても、出店計画が周辺環境に配慮した地域住民の理解が十分に得られるものとなるよう、関係機関と協議しながら事業者を指導していきます。